

## 町長室から

田上町長 佐野 恒雄

五月五日は「端午の節句」です。男の子の健やかな成長を願い、鎧兜を飾ったり、鯉のぼりを揚げたりします。元々は、武家で、鎧兜や家紋を染めた旗を梅雨に入る前に虫干しをした習慣が、江戸時代に現在のようないな事になったと言われています。今では、鎧兜は戦いの道具というよりも、病気や災難から男の子を守る象徴としての意味が強いです。

この季節は「たけのこ」の時期でもあります。昨年度はあまり採れない年で、道の駅でも売り切れでご迷惑をおかけしました。今年は多く採れる年で、道の駅直売場では四月上旬からたけのこが並び始め、連日、たけのこを求めて多くの方が町内外から来られました。駅長さんも「たけのこまつりと称して様々なイベントを催しました。道の駅が町のにぎわいの拠点になればという思いで、スタッフ一同務めています」と話していました。

また、今年の田上うめまつりでも、梅林公園や道の駅のお花見弁当などがテレビや新聞で紹介されたこともあり、例年以上に多くの方が梅の花を楽しまれました。道の駅がマスコミを町に呼び込んでおります。

これからはアジサイの季節です。護摩堂山を始めとした町の魅力を広く伝え、町内の他の場所にも足を運んでいただけるようにしていきたいと思えます。